

外国人のための日本語教室 多文化共生社会への第一歩

苅田町では、外国人住民のための日本語教室を毎週火曜日の夜7時から開催しています。この教室は、日本語学習だけでなく、地域から孤立しがちな外国人住民の居場所をつくるための役割も果たしており、参加者は日本語支援ボランティアの皆さんと一緒にことばや文化を学んでいます。3月の教室では、ベトナムやフィリピンの出身者がゲームなどを通じて日本語を学び、賑やかに交流を行っていました。



民間企業との人事交流が終了 町長が研修員に感謝を伝える

研修員として人事交流していた JR 九州社員 3 名とスタッフライヤー社員 2 名が、3 月 31 日で交流期間を終えることを受け、同 27 日に遠田町長と懇談会を行いました。研修員たちは交流期間中、窓口業務やワクチン接種業務など様々な業務で活躍。町長は「皆さんのおかげで、業務を円滑に行うことができ、本当に感謝しています。これからの皆さんのご活躍を期待しています」とねぎらいの言葉をかけました。



新規採用職員 11 名に辞令交付 町職員としての活躍を誓う

苅田町新規採用職員への辞令交付式が 4 月 3 日に町長室で行われ、新たに採用された 11 名の職員は、緊張した面持ちで町長から辞令書を受け取りました。交付式の中で町長は、職員としての門出を祝福するとともに、職員としての心構えなどを教示。新採職員は、希望とともに職責の重さを実感しながら「苅田町がより良い町になるように、精一杯頑張ります」と気持ちを引き締めていました。



1000 年の歴史を誇る等覚寺の松会 五穀豊穰・疫病退散を祈る

等覚寺地区に伝わる山伏の祭礼「等覚寺の松会」が、4 月 16 日に白山多賀神社で行われました。今年は 4 年ぶりの一般観覧を予定していましたが、会場に続く林道の一部が通行止めになったため一般観覧は中止に。それでも、「幣切り」などの一連の神事を関係者のみで執り行い、1000 年以上続く松会の伝統をつなぎました。関係者は「一般観覧はできなかったが、4 年ぶりに本来の形で実施できてよかった」と話していました。



まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

町内の高齢者を招待して寄席を開催 「笑い」で心も体も健康に！

苅田ロータリークラブが 4 月 1 日、「落語ふえす〜笑う門には福来たる〜」をブルーポートホテル苅田北九州空港で開催し、約 140 名の参加者が落語を楽しみました。同クラブは、コロナ禍で様々な制限がある中でも、高齢者の皆さんに「笑い」を届けて元気になってほしいと、このイベントを企画。参加者は「久しぶりにこのようなイベントに参加した。たくさん笑って楽しい時間が過ごせました」と話していました。



第 3 回 苅田町写真コンテスト 最優秀賞を菅原さんが受賞

苅田まちづくり観光協会主催の「苅田町写真コンテスト」と「苅田町 SNS フォトコンテスト」の表彰式が 3 月 24 日に開催され、入賞者に野中眞治代表理事から表彰状と記念品が贈られました。コンテストは、町の魅力を多くの人に知ってもらおうと、同協会が 2 年前から実施しているもので今年で 3 回目。一般写真部門には町内外から約 100 作品の応募があり、菅原政昭さんの「苅田港 花火」が最優秀賞に選出されました。



まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

男女共同参画行動計画策定に向け 審議会が意見を町長に報告

男女が互いに尊重し合うまちづくりを進めるために町が作成している「第 3 次苅田町男女共同参画行動計画」について、苅田町男女共同参画審議会の喜多加実代会長（福岡教育大学教授）が 3 月 23 日、町長に意見を伝えました。審議会の意見には「政策決定過程での女性の参画拡大」や「ジェンダーに配慮した災害時の避難所対応」などが盛り込まれており、町では今後、これらの意見に基づいて計画を策定していきます。



苅田小学校 4 年生の吉永琥愛さん ジャパンアスリートカップで優勝

苅田小学校 4 年生の吉永琥愛さん（力心塾所属）が、1 月 29 日にエディオンアリーナ大阪で開催された「空手ジャパンアスリートカップ 小 4 女子の部」で優勝し、3 月 17 日に町長を表敬訪問しました。吉永さんは「優勝して嬉しかったです。家族や先生がいつも一緒に練習してくれて、感謝しかありません。これからも連覇して勝ち続けたいです」と話し、今後に向けた強い意気込みを見せました。

